

7. テレビとインターネット

授業のねらい

テレビやインターネットでニュースの情報を入手する際には、それぞれの特性を踏まえた上で、それらを組み合わせて使うことが必要であることを理解させる。また、災害時にはそれぞれがより多くの情報を積極的に送ることに目を向けさせ、災害時のメディアの役割についても考えさせる。

授業の価値

多くの人々は、ニュースの情報をテレビとインターネットから得ている。テレビは受け手の意思にかかわらず情報を送るという特性があり、インターネットには受け手の意思で選択的に情報を集めていくという特性がある。

この授業では、まず、この二つのメディアを比較しながらそれぞれの特性を調べる。そして、状況に応じてそれらを組み合わせて使うことの大切さを理解させる。

次に、災害が発生した時のそれぞれのニュース情報の伝え方について思い起こさせる。東日本大震災の際には、テレビは番組内容にかかわらず文字や図で地震や津波の情報を発信した。また、台風接近などの際にも、L字型画面で文字や音声を組み合わせ、災害に関する情報をより多く発信している。一方インターネットでも、より広く情報を伝えようと検索サイトのトップページに地震情報を載せるようなことが見られる。これらの例から、災害時には人々の生命の安全を守るために、テレビもインターネットもより積極的に多くの情報を送っていることにも気付かせる。

教科・領域等

特別活動・総合的な学習の時間

対象学年

小学校第5学年～第6学年

活用する資料

ニュースの情報を何のメディアで得ているかの調査結果、地震速報や津波情報、台風情報が流れた際のテレビ画面の写真、地震情報が掲載された検索サイト画面

● 授業の展開

	学習活動	指導上の留意点
5分	<p>1. 普段、ニュースを主にどんなメディアで得ているか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あなたはニュースを主に何で見たり聞いたりしていますか。 〈予想される反応〉 ・テレビ・インターネット・新聞 <p>2. ニュース情報を日常的に得ているメディアは世代ごとに差があることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースはテレビ、ラジオ、新聞、インターネット、携帯電話などで得られることを思い起こさせる。 ・ニュース情報を日常的に得ているメディアは世代ごとに変わっており、特に若い世代はインターネットの利用率が高く、テレビ離れが進んでいるデータを提示する。
30分	<p style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">◎ 学習課題 ニュースの情報を手に入れるときのインターネットとテレビの特性を調べよう。</p> <p>3. インターネットとテレビでニュースの情報を入手する際の特性の違いに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 待っているだけで情報を伝えてくれるのはどちらですか。 〈予想される反応〉テレビ ● いつでもニュースが見られるのはどちらですか。 〈予想される反応〉インターネット ● 知りたいことをどんどん詳しく探せるのはどちらですか。 〈予想される反応〉インターネット ● 後から見返しやすいのはどちらですか。 〈予想される反応〉インターネット ○ テレビは受け手の意思に関係なくどんどん情報を送ってくれる、インターネットは受け手の意思で選択して情報を取りに行くという特性があります。 <p>4. 二つを組み合わせることでより良い情報手段となることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 両方の良い点を利用するにはどうしたら良いですか。 〈予想される反応〉 ・組み合わせて使う。・場に応じて使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの項目に絞って、特性を比較させる。 ・児童にそう考えた理由を説明させた後、実際の例を示しながら説明を補足する。 ・テレビは受け手の意思に関係なく情報が送られて来ること、インターネットは受け手の意思で選択的に情報を取りに行く特性があることを押さえる。 ・それぞれの特性から、どちらかだけだったら足りない点を考えさせ、両方を組み合わせて使うことでそれぞれの弱点がなくなることに気付かせる。
10分	<p>5. 災害時のそれぞれのニュース報道について思い起こす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大きな地震や台風が来た時、テレビやインターネットでニュースを見ましたか。 〈予想される反応〉 ・見た。画面に地震の様子が放送されていて横には、文字で被害状況が次から次へと伝えられていた。 <p>6. 災害が起こった時は、人々の生命の安全のため、テレビもインターネットも災害に関わる多くの情報を送ることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビは、災害時には他の番組の放映中に災害に関する情報が流れるなど、強制的に情報を送ってきたこと、より多くの情報を送るために画面を区切って文字情報を送り続けていたことを思い出させる。 ・多くの人が見る検索サイトのトップページには、地震情報がすぐに掲載されていたことを思い出させる。
	<p>まとめ テレビとインターネットでは、ニュースの情報を手に入れる時に違った特性がある。しかし災害が起こった時は、人々の生命の安全のため、テレビもインターネットも災害に関わる多くの情報を積極的に送る。</p>	

● 発問 □ 指示 ○ 説明